

「第五十一回靈界物語全国一斉拝読会」開催奉告祭祀詞

掛巻も綾に恐き大本皇大御神及惟神真道弥広大出口国直靈

主命の宇豆の大前に齋主 伊慎み敬ひ恐み恐みも白さく皇

大神の広き厚き大経綸は月日と共に開け進み惟神の御教は海

の内外に弥広に拡がり榮へゆくこそ実にも尊き極みなれ今日

はしも恐くも瑞靈真如大聖師の神書『靈界物語』御口述始

め給ひしより九十七年巡れる十月十八日の日にしあれば大本

教の全国宣信徒等一斉参加挙りて第五十一回の靈界物語拜

読の集合を開き相互に全巻を拜読了へむとす故今日より後

各自勉め励みて全巻の悉速かに拜読修め奉らむと心も新た

に誓ひ奉りて御前には種々の多米津物を捧げ奉りて称言竟奉

らくを平けく安らけく聞食し相諾ひ給ひ

永久の生命の糧なる神の書暇あるごとにいっつけまめ人

皇神のみのりを写すこの神書はとこよのやみを照らすともし火

と宣らせ給ひし諭しの神歌畏み奉りこれの齋場に集へる諸人

は言ふも更なりあまねく靈界物語を学ぶ人々に大神徳を授け

給ひ差添の種となり救世の御教を宣伝へ大本の教国は教主の

下崇へ久しく神の御国の勇士と男子も女子もその本分を完う

し身健やかに命長く平和世界を打ち建つる大神業に雄々しく

有終美く仕へ奉らしめ給へ夜の守り日の守りに守り幸はへ給

へと恐み恐みも乞祈奉らくと白す